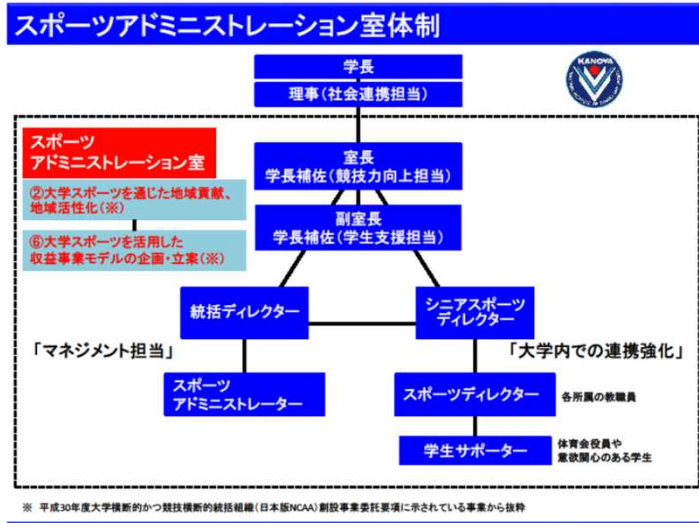


大学スポーツ振興の推進（鹿屋体育大学の取組）

○大学スポーツ分野の統括業務の実施

スポーツアドミニストレーション室は、学長と理事（社会連携担当）が総括し、室長及び副室長を含め16名で構成される。



○先進的モデルの企画・立案及び実施

(1) ブランドロゴの作成事業

本事業では「ブランドロゴ」の作成を目指し地域住民から支持されるロゴの作成を目指す。地域とともに作り上げる大学スポーツブランドの確立は、地域住民を含む多くの人々のためのシンボルを創設することであり、地域の一体感や活性化を促す「ビジュアルアイデンティティ」となる。

(2) ブランド浸透イベント

1) 学内施設の市民開放事業

地域イベントの大学内開催：かのやスポーツフェスタ等
ランチバイキング：スポーツに興味のない住民の取り込み

2) スポーツボランティアによる社会貢献

これまで大学が実施してきた社会貢献活動（スポーツボランティア、スポーツ指導者派遣等）を創設したブランドロゴを通じて市民に広く告知する

3) ランチトーク

同じ学生間でもお互いのことをよく知らないことが多く、それぞれに紹介し合える場を設け、情報共有の実現を図る。地域住民や外部者を招聘した講演等の実施

4) カレッジスポーツデイの開催

大学スポーツチームの公式試合を地域イベントに合わせて開催する

○事業の継続的实施に向けた計画立案

本事業は単年で行われるものであるが、大学スポーツの推進事業については本事業を機に継続的に実施していかなくてはならない。そのため年次計画を立案し、継続的かつ安定的に大学スポーツ推進事業を展開していく。

2018年度：創設されたブランド「BLUE WINDS」を活かしブランド事業を展開する。また、スポーツアドミニストレーターを大学内および鹿屋市役所に配置し、地域イベントに合わせたカレッジスポーツデイの企画運営、企業等との連携を実施し、事業運営費の確保に努める。さらに、鹿屋市ふるさとPR課と連携し、ふるさと納税を活用した資金調達モデルの検討も開始する。

2019年度：九州地区においてもラグビーワールドカップが実施されるため、わが国におけるスポーツに対する認知度がさらに向上することと思われる。本学のシーズを活かし、スポンサー収入等による資金確保策や、事業運営費の安定化を図る方法を検討する。

